



とよおか金時寄席

9月29日 ゆめあるて



第 692 号
発行人●豊丘村公民館 館長 原 国人
編集人●長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会
0265-35-9066
印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村
(10月1日現在 ※外国人を含む)
男 3,365人
女 3,386人
総人口 6,751人
世帯数 2,152戸

満場を笑いに誘うプロの技

とよおか金時 寄席

実行委員 大原俊秀

文化事業実行委員会では、年に二回事業を行って います。夏にはソプラノ歌 手をお呼びし、すばらしい 歌声に酔いました。秋には 昨年に引き続き、三遊亭金 時師匠一行をお呼びし、三 人の落語を聴きました。 裏話をしますと、この事 業の運営は、実行委員九名、 本館社会部員七名で構成さ れています。

まず、高座造りです。台 を三台並べてその上に畳を 敷きます。それができると 屏風を立てかけます。動か ないようにガムテープで止 めます。そして紫の幕を張 り付けますが、これが大変 で、委員長の壬生さんの指 導で何とか形になりました。

それが終わると、ときん師 匠が照明についていろいろ と注文を付けてきます。こ の照明により顔の映りが変 わってくるからと思います。 足元の悪い中、昨年と同 数くらいのお客さんが、今 か今かと待っていてくれま したが、照明で時間を取ら れ入場が少し遅れてしまっ ました。

最初に高座に上がったの は、二つ目の春風一刀さん で、一寸色っぽいお話で、 これはいったいどうなるか とドキドキしながら聴いて いましたが、最後の落ちで 「あー、何だ」と納得しまし た。

二番目のときん師匠の話 は幽霊の話で、最後には幽 霊が幽霊でなくなっていし まう、という面白い話でした。 最後は金時師匠の高座で す。師匠のお父さんという 人は、昔私たちの若い頃 「お笑い三人組」という番組 がテレビで放映されており、 私は毎回見ていました。一 龍齋貞鳳、江戸家猫八、三 遊亭金馬の三 人で、この金 馬師匠の息子 さんというの で、カエルの子はカエルだ など感じまし た。今回も人 情話で、自分 は貧乏暮らし で、自分の娘 を売った金を、 困っている見 も知らない人 にくれてしま すが、最後にはすべてうま いく、とい う話でホロっ としました。

笑いは心の 栄養になりま



とよおか金時寄席（実行委員と）

健康ウォーキング大会 10月8日

初めての ウォーキング

林里二 大原悠慎

ぼくは初めてだんＱくん 健康ウォーキングに参加し ました。十キロメートルに チャレンジしました。歩き 始めは下り坂が多かったけ れど、だんだんと急な坂に なってきて、歩くのがきつ くなりました。けれど、時 間がたつうちに、すこしづ

つ足、こしがなれてきまし た。ときどき、まわりの景色 を見たり、後ろにいたお母 さんたちに手をふったりし ながら歩きました。てっぺ ん公園が見えてきました。折 り返し地点までスパートだ と思いました。あきらめな いぞという気持ちが強まり、 てっぺん公園まで登ること ができました。「やったー。」 と、思わず言いました。そ して「うわー！つかれがふっ 飛ぶくらいきれいな景色だ

ぞー。」と思いました。 休けいして、今度は下り 始めました。登りのつかれ がちよつとあるな、と感じ ましたが、下る勢いに乗り ながら走りました。走った り歩いたりしているうちに、 やつぱりつかれてきました。 残り二キロメートルの所で こしがいたくなってきました。 けれど、最後まで自分 で歩くと決心して歩き ました。残り一キロメー ト ルになって、あとわずかだ、

がんばるぞ、と思いました。 すると、後ろから一人走っ てくる人が見えまし た。なので、ぼくも あわてて走りました。 ゴールして、「よっ シャー！」「やった ぞー！」と達成感を 感じました。



は参加してよかったと思っ ました。

ウォーキングは、一 人だとつまらないけ れど、みんなと歩い て楽しくなる運動だ と思いました。ぼく

（原 明美）

段丘

とにかく暑かった今年の 夏。熱中症で亡くなる人が 続出し「水分をこまめに補 給して、がまんせずエアコン を使用しよう」とテ レビ、ラジオから毎日聞こ えてきた。人間ばかりでな く、野菜等も水不足で農家 の方も散水したりして大変 だったと思う。

お店へ行けば、アイスや 飲み物も不足きみだったり して暑さに振りまわされた 夏だった。

そんな中、九月には複数 の台風が上陸して、日本中 が、大変な被害を受けた。最 近はスマートフォン等で撮 られた被害の映像がニュー スで流れるようになった。今 回も、自転車置き場の屋根 がめくられて飛ばされたり、 大きなトラックが横倒しに なる様子が流れていた。映 像を見るたび、台風の恐ろ

しさを感じ、対策を取らな ければと思う。今は普段食 べているレトルトや缶詰を 多めにストックしておき、 食べて減ったら買い足して おく方法が紹介されている。 そんなところから始めたい と思う。

第48回 輝丘祭 光彩 紡げ光の物語り

中学校最後の輝丘祭
三年一組
月 木 優 花

私たち三年生にとって中学校最後の輝丘祭を終えて、私は、クラス、学年、全校の絆が深まった輝丘祭になったと思います。

運動会のクラス対抗の競技では、大縄とびの全員とびと二千二百mリレーがありました。私たちのクラスはリレーの練習を特にがんばってきました。絶対に一位になるという思いで練習してきました。本番ではおしくも一位にはなれませんでした。私は、絶対に一位になりたいと思っていたので悔しかったし、悲しかったです。しかし少し時間がたつ

て順位が全てではないと思いました。クラスのみんなと協力して一人がみんなの事を、みんなが一人の事を思ってた事が大切なのではないかと思います。また、音楽会ではみんな本気で歌って今まで一番いい合唱になりました。中学校最後の輝丘祭は楽しかったこと、悔しかったことなどいろいろあり、いい思い出になりました。この輝丘祭で学んだことをこれからに活かしていきたいです。

輝丘祭をふり返って
三年一組
羽場崎えり

中学校生活最後になる今年の輝丘祭は今までとは、一段とそこにかける思いや責任感が大きかったように思います。

前日準備まで私は、昨年までの輝丘祭を思い出しては「今年もうまくいくのかな。なにか失敗してしまつたらどうしよう。」と不安や心配が次々とおそってきました。しかし、当日になって開祭式が終わり、作文発表になったところで、「大丈夫だろう。」という期待に変わり、最後の輝丘祭を全力で楽しみ、素晴らしい思い出にしようと思うことができました。



今、ふり返ってみると、運動会も音楽祭も、どれも素晴らしい思い出であり、終わってしまったことがさみしく思っていることに驚いています。

私達のクラスは運動会にて、「大縄」と「全員リレー」で優勝することが出来ました。これは、輝丘祭の中で最も私の心に残っています。クラスの仲間とずっと練習してきた意味があったと感じました。また、歌声に自信とプライドのある三年生は、音楽会でも迫力のある三年らしい歌が歌えたとします。

全てにおいて、中学校生活を彩る最高の輝丘祭でした。

豊丘中学校は、本年度、開校六十周年を迎えました。そこで、九月一日土記念音楽公演会を、豊丘中学校体育館にて、和太鼓集団「倭」を招いて、行いました。

当日は、村長をはじめとする、村民の皆さんも多数ご来校いただき、盛大に開催することができました。

体育館中に響き渡る太鼓の音、躍動する奏者、大きなかけ声など、子どもたちは初めて触れる和

世界各地で公演しているとお聞きし、日本の文化の一つである和太鼓が世界に広がっているということにとても喜びを感じました。

今日は本当にありがとうございました。多くの生徒が、今回の公演から何かを感じてくれたと思います。その思いを、これからの学校生活の糧としていってください。

今回の公演には、豊丘村役場・豊丘村教育委員会をはじめとする豊丘村の皆様のご支援ご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。



公民館登録グループ活動紹介 第13回

ノリちゃんズキッチン

・夏野菜とえびのいためつけ ・緑茶くずもち
・ごぼうのごまがらしあえ ・お楽しみ茶碗蒸し

森田幸江

を作りました。

私たちは、毎月一回管理栄養士の竹下則子先生がたてくださる三〇四品を調理実習しています。会員は現在九名で、若い人から主婦歴の長い人まで幅広いです。私自身、具材の切り方、

味付け等自己流でやってきて、いい加減で恥ずかしいな、という気持ちでしたが、今更ながら学んでみようと思いついたままに参加しました。

計量スプーンできっちり計ったり、切り方も確かめて切ったりしますが、勉強するってこういうことなんだな、という心地よさも感じています。

和気あいあいと一時間くらいかけて作り、会食しながら調理の話や雑談をすることも楽しく、気付けられることも多いです。

減塩で体に優しい献立を一生懸命考えてくださる先生が素敵な方で、季節のものを上手に取り入れ、普段は使わないかな...というやり方がとても新鮮でもあります。遊び心満載のデザートも魅力的で、小さい子どもや女性が喜びそうなものも教えてくださいます。家で作れるものばかりで、レパートリーも増え、夫との会話も心なしか弾みます。興味のある方がお一人でも増えてくれると嬉しいです。

今年八月に終戦となった。同年十一月に警察官試験に合格、警視庁の警察官となったが、親族からの反対意見が強く三年間勤めた後、退職し帰郷した。

時を経ずして親戚縁者の世話により、現在地林里の「原家に養子入り、イセさんと結婚した。子供に恵まれなかった家への両思い婚で、二十三歳であった。以来夫婦で暫くの間、農業に従事した。高度成長期を迎えていた三十七年に、心機一転、市田木材に入社、製材関係者を主として働いた。建築ブームと重なり、大黒柱、梁、床板、壁板などを中心

原 秋夫さん
九十二歳
林里三在住

五人きょうだいの末っ子、三男として大正十五年に堀越の宮下家で生まれた。農業を営む父親は何かにつけて厳しかったが、末っ子には優しく接してくれた。近所には同年代の仲間が多く、幼少の頃は皆と山野を駆け巡り無邪気に遊んだ。小学校を卒業、青年学校で三年間学び、松本(御牧原)で訓練を受けた後、十六歳の時、勤労報国隊として村から他の三名と共に満州に渡った。事前に聞いていた内容とは異なったが、懸命に開拓農作業に当たった。しかし水質が悪く赤痢が流行り大変苦労した。そんな生活を三ヶ月で切り上げ帰国した。

休む間もなく徴用により名古屋造船にて、輸送船の製造に従事した。激しい戦時下であり軍事の最重要工場が並んでいた地域のため、頻繁に激しい爆撃を受け、本

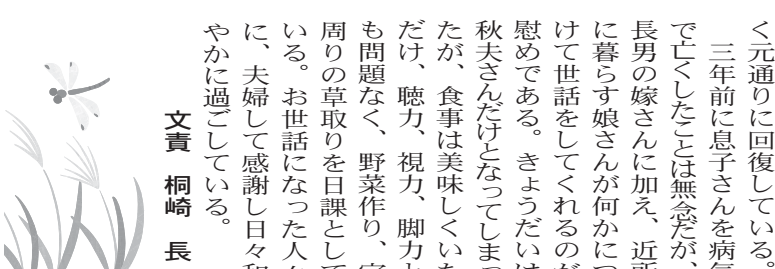
三六災害は辛い思い出だ。近くの堤防が決壊し、一面水浸し、飼育していた豚を近くの農協へ移動し、大きな難を逃れた。仕事の

傍ら消防団班長、公民館分館長、神社氏子総代長等を歴任、また村の老人クラブの立ち上げにも尽力した。現役時代はこれといった趣味を持たなかったが、退職後、気の合う仲間五人組の夫婦で国内各地の旅行に出かけた。また詩吟にも挑戦、歌謡曲も嗜んだ。夫婦仲は良く、結婚以来喧嘩らしい喧嘩はしたことが無いという。秋夫さんの穏やかな性格と、奥さんの献身的な内助の功のなせる結果であろう。健康面では最近まで病

期が脳梗塞を患った。幸い発見が早かったため、厳しいリハビリに耐え、投薬だけの治療で十五日間の入院で済んだ。今では後遺症も無く元通りに回復している。

三年前に息子さんを病気で亡くしたことは無念だが、長男の嫁さんに加え、近所に暮らす娘さんが何かにつけて世話をしてくれるのが慰めである。きょうだいは秋夫さんだけとなってしまったが、食事は美味しくいただけ、聴力、視力、脚力とも問題なく、野菜作り、家周りの草取りを日課としている。お世話になった人々に、夫婦して感謝し日々和やかに過ごしている。

文責 桐崎 長一



公民館からのお知らせ

◆公民館文化祭作品展
開催のお知らせ

十一月は文化月間です。公民館では、十一月十八日から二十五日までの八日間、ゆめあるて全館において「公民館文化祭作品展」を開催します。

公民館グループの一年間



の制作活動の作品や、小学生、ミニディ、また、個人制作の作品等が賑やかに展示されます。

昨年度より、とよおかまつりとは時期をずらしての開催となっており、展覧会らしく静かな雰囲気でご覧いただけますので、ご家族お友達をお誘いあつて、大勢の皆さま是非お出かけください。

また、催事として茶道クラブの皆さんによる「お茶会」も開催予定です。詳しくは、隣組回覧チラシをご覧ください。

◆第十六回さんかくセミナーが開催されます

豊丘村男女共同参画推進委員会主催のさんかくセミナーが、十一月四日(日)午後一時からゆめあるてで開催されます。

昨年引き続き、(株)アイナロハ代表の渡邊大地さんをお招きしての、楽し

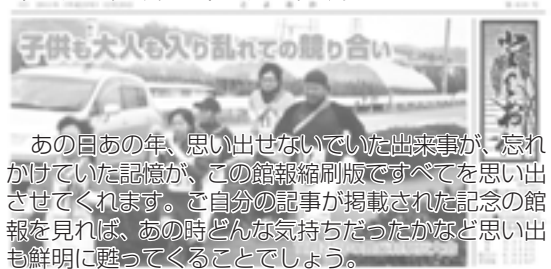


公民館 〇三五―九〇六六

い子育てセミナーです。子育て真っ最中の皆さん、どうぞお気軽にご参加ください。(お問合せ)

公民館報縮刷版 第五輯 発行

平成18年4月～平成27年3月



あの日あの年、思い出せないでいた出来事が、忘れてかけていた記憶が、この館報縮刷版ですべてを思い出させてくれます。ご自分の記事が掲載された記念の館報を見れば、あの時どんな気持ちだったかなど思い出も鮮明に甦ってくることでしょう。

印刷された冊子と、PDF化されたデータのDVD版があります。お好みの縮刷版を是非お求めください。

館報とよおか縮刷版(印刷・製本)…1冊4,000円(DVDデータ)…1枚2,000円

お買い求めは、ゆめあるて(電話35-9066)まで

市田とうろう流し

投稿

伴野原 芦部キヌ子

毎年とうろう流しには必ず行きました。今年は歳のせいかな、寒いかな暑いかなと思ひ家にいようと思ひましたが、息子が「一年に一度しかないで行きな」と言ってくれました。座る所がなくなるので早く行きました。座る場所とはれたものの、とにかく寒くても一枚着る物を持ってくれば良かったと思ひました。橋の上は行ったりきたりの人でいっぱいでした。花火が出るまでは見る物がないの

で行きかう人を見ていました。ちよつと感じた事は、若い女の人のかみの毛の長いことです。私の若い頃は皆パーマをかけていました。そして服そうがズボンの裾が広がってズボンでもないスカートでもない仕度です。時代が変わったのかと思ひました。七時から花火が始まりスターマインやとうろう流し、大きな花火も出ました。心ゆくまで最後まで花火を見ました。

鉄道全国旅歩き

第11回 在来線

北市場三 山本義彦

乗車体験をしてから廃線になった線区、乗る前にすでに廃線になった区間はいくらでもある。特に北海道が顕著だ。残念ながら車社会と人口減には勝てない。「線路は続くくよ何処までも」はやがて死歌になるか。新幹線を否定するつもりは全く無いが、東海道新幹線のトンネルの少なさは別として、以外は殆んどトンネル。旅を始めてから今日に至るまで新幹線はただ、在来線に乗るための手段、つまり時間短縮で、乗りたいたいと思つて利用したことはない。

半世紀掛けて全国の鉄道を乗りつぶしたが、もし高速鉄道があつたら四半世紀で済んだかもしれない。時間が掛かつた分その価値は自分にとって貴重なものだ。日本に鉄道網が急速に発達する黎明期はまだ現在のようなトンネル掘削機もなければ橋梁技術も今ひとつのため、トンネルの長大は無理、また橋も長いものは技術、費用と時間の関係で、安易な方策として、たとえば河(川)を渡る場合、

在来線と名の付く路線があるわけではない。新幹線に対して、旧来からある路線を総称して呼ぶのであるが、これがいま二極化している。片や廃線、一方では観光路線として活路を見出している。特に観光資源も無く高校生と統廃合による小、中学生が乗客の路線は少子化でやがて廃線。私が

川幅の一番狭いところまで行き渡河したらまた対岸を元の位置まで戻る工法が採られた。これは極端な例だが似た様な箇所は日本中にある。トンネルも然りで、これが今になれば貴重な観光資源になるのである。山国の私にとっては海岸線を縫うように走る路線は幾度でも行きたいと思つている。日本列島の外周はほぼ海岸線を走るので景色は良い

がリスクも高い。特に東日本震災をともに受けた三陸鉄道のリアス式海岸は特に素晴らしい。日本の国土の構成上、山と海岸線の間隙、内陸部は山と川の間隙、これは一般道路も同じ事で景色とひきかえに災害発生時には復旧が大変だ。やがてトンネルで日本列島を網羅する時が来るか? まるでモグラ。しかし地震国でもある。

話を戻すと豪華な内装の列車を投入し在来線を巡る旅として一泊二日がベアで百万円などざら、先陣を切つたのがJR九州の七ツ星列車、その後各社が後に続く。予約で一杯のようだ。素朴なのは飯田線の秘境駅号、列車本数が少ない天竜峡と中部天竜の間の七つの駅を全て下車して見学し飯田駅で折り返す。名古屋駅発着で九千八百円。人氣があるようだ。この区間は旧国鉄編入前は三信鉄道で、アイヌ人の川村力ネトが苦難を乗り越えて設計、施工した路線でトンネル、橋梁が織り成す四季折々の風情は都会人にはたまらないのかも。そのため何かあるといつもこの区間が不通になる。

とよおか100年前

『豊丘村民話集』より

怪談四話

福沢もと子

(一)

時は大正十年前後、わが夫若かりし頃、五月雨のシトシトと降る暗い晩であつた。なにかようじがあつたか、だいぶ夜も更けての帰り道、遙か前方から、はだして髪をざんばらにした女が、急ぎ足でビタビタ歩いて来るのを見て、生きた幽霊ではないかと背すじ、首すじがぞーつとしていかように家へと帰つたか、あのようなこわいことは二十年このかたなかったという話であつた。

たとのはなしでした。(二) 喬木村から福島へ恋仲で嫁つて来た人があり、その娘が林の方とやはり恋仲で夫婦になり生活していましたが、娘は病気でだいぶ悪くなつていました。

ある晩、福島のお母さんが暗い晩に外に用足しに出ると、自分の方に向つていゝわゆる人だまの大きいのがふらふらと上がつてくるので、これはきつと私を頼つて誰かくるのだらうと思ひじつと見つめていました。翌日、朝早く娘が死んだと知らせがきたとの話でした。

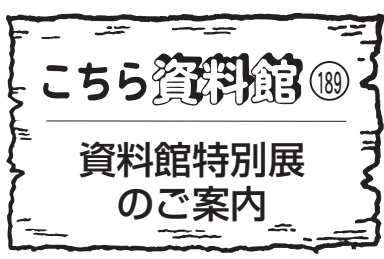
(四)

あるところ子供が毎晩、夜泣きをしてどうしても泣き止まないでホトホト困つてしまい、行者におがんでもらいました。するとその方が、あなたのお家にぶるいお位牌が天井裏に上げてそのまゝになっているから、それをきれいに洗つてどっぷりに一杯のお茶やご飯を進ませさいと言つてくれ、天井から取り出した位牌を洗つて供養しましたら奇妙に子供の夜泣きが止んだとのこと。

かわつたごちそうができたら、とにかく先祖に、たまにはお茶も進ませてほしいと思います。

(豊丘村民話集・第老輯(昭和五十二年)より)

文責 壬生雅穂



写真は、只今改装展示替え中の資料館考古室の現在の様子です。北側ウィンドーの改修・床のカーペット張替え・展示ケースの移動等を終え、綺麗なすがすがしい空間へと生まれ変わりました。あとは、土器や石器の展示を待つばかりといったところですが、目下着々と準備が進んでいます。もう少しお待ちください。それにつけても、工事を担当してくださった業者の方々は勿論、暑い中土器や石器の移動に協力いた

だいた中学生や一般のボランティアの皆さん、重いガラスケースの移動をお手伝いいただいた教委事務室の皆さん、本当に有難うございました。

さて、期待される新しい展示ですが、遅くとも一月中旬には完成予定です。そこで、新装なった考古室のお披露目を兼ねた特別展「豊丘村の発掘展(仮題)」を十一月一八日(日)〜二五



～シリーズ～ 豊丘の自然

No.179

マダラヤンマ
(ヤンマ科)



めずらしいトンボを水辺の楽校で採集した。久保田さんに写真をお借りして紹介する。名前はマダラヤンマ。オオルリボシヤンマを小さくした、それは美しいトンボ。なにがめずらしいかと

言う、北海道から北陸地方にかけて分布するが、産地が局限されていること。県内の確認地点が、その事を物語っている。北佐久郡浅科村御牧が



2012年だんQくんに集まる子どもたち

田の黄金色もすっかり消えて、収穫された農産物などが持ち込まれ、豊丘村役場の駐車場は収穫の歓びに

これに合わせ開催されるイベントは、つい最近まで参加型の楽しさ溢れる内容で、今のように見物を主体とした内容からは想像もで

川柳

〈豊丘川柳クラブ豊柳会〉

▼課題「野」 久保ひろし 選

年金の足しになるのは自家野菜 小澤 凛

農地から原野に戻る世の流れ 原 美風

台風を野分と呼べぬ温暖化 林 桃子

軸吟：野菊咲く山道ひっそり鹿が鳴く

▼課題「信」 互 選

しあわせにするの一言信じ生き 福沢 勝美

信ずればムチも受け入れ感謝出る 安田 喜子

次世代へ信じてゆずる親心 市沢 照子

▼自由吟 福沢勝美 選

神佛に手を合わせてる安堵感 久保ひろし

朝令暮改付き合う日本大変だ 山本 義彦

暴力とバワハラ揺るぐスポーツ界 桃沢 健介

豊漁と聞き待っている旬の便 西元 峯子

軸吟：米朝口したたか外交日本ゆれ



混合優勝 テンケイセイカーズ



混合準優勝 カッターズ

私達BWHは日頃、男女混合で練習しているチームですが、昨年から女子の部にも参加しようという事になり、昨年はベテランチームの厚い壁を感じ、一勝するのがやっとでした。

二年目の快拳

BWH
筒井さゆり

もビックリしましたが、皆大喜び。短い期間でしたが、とても印象に残る、夏の思い出となりました。



女子優勝 BWH



女子準優勝 河野フレンドB

俳句 短歌

夕立やバイク僧行く縋衣の袖 夫徳ぶ書籍の山にある秋思 秋暑し草の猛威に兜脱ぐ 道祖神ひと粒ずつに栗並び 千蒲団今日の一日を癒されし 雷鳴におびえる愛犬すがりつき 神妙に立てば神域秋の蟬 蜀黍をハーモニカのごとかじる孫 案山子増え村の人口増えたやう 過疎の地の新盆今も賑はへる 念佛の低く響ける流灯会 エンドロールが戻す現実竹の春 誕生日栗飯孫とわちあふ 伊那谷の早瀬の味の新走り

磯部セツ子 田中 静 片桐 洋子 森田 恵子 三島 保子 下平 玲子 三島 里子 木下 眞水 松岡 照子 宮下 公 宮下 純子 林 恵美子 丸山 時子 北原 昭子

〈あしたば短歌会〉

短歌友と生き甲斐感じ幾年か方程式を解くごと詠めり 猛暑過ぎ立秋と聞く親しさよかなかなの声早やも待たれる 大倉 知江

暑き夜の指に絡まるベンを置き心を閉づる眠りを待てり いたずらも失敗も日記につづりおり飯面もたざる曾孫の心 毛涯百合子

七十年農一筋生きて来し足腰痛む八十路も半ば 満蒙の開拓の悲劇聴きし時逝きたる身内を想う真夏日 壬生 千春

食べるより拾うが愉し栗の実の落ちる音して秋は始まる ドラマよりバラエティーよりこの頃は異常気象のニュースに入る 北澤 秀子

ひと夏を奏で続けし蠡斯雌に喰われてひと世終はるも ネズミ捕り疾に忘れし猫の奴フード喰らひてソファーに眠る 福澤 亀人

〈短歌会 夢あるて〉

秋来たりダリアは酷暑乗り越えて色濃く咲けり背すじ伸ばして 髪されば「ばあちゃんかわい」そんなこといつてくれるは幼児二人 大原真由美

豊漁と水揚げされる新秋刀魚今年は幾たび膳にのぼるや 松尾ヒサコ

土佐伊予の札所を巡り経納め大師に添われ母を供養す 松下 泰見

抜きたての青菜につきし泥のあと昨夜の嵐の激しさを知る 福澤貴美恵